



陸前高田市における 生活交通に関するアンケート 調査結果

令和3年1月25日
陸前高田市



1 市民アンケート調査の概要

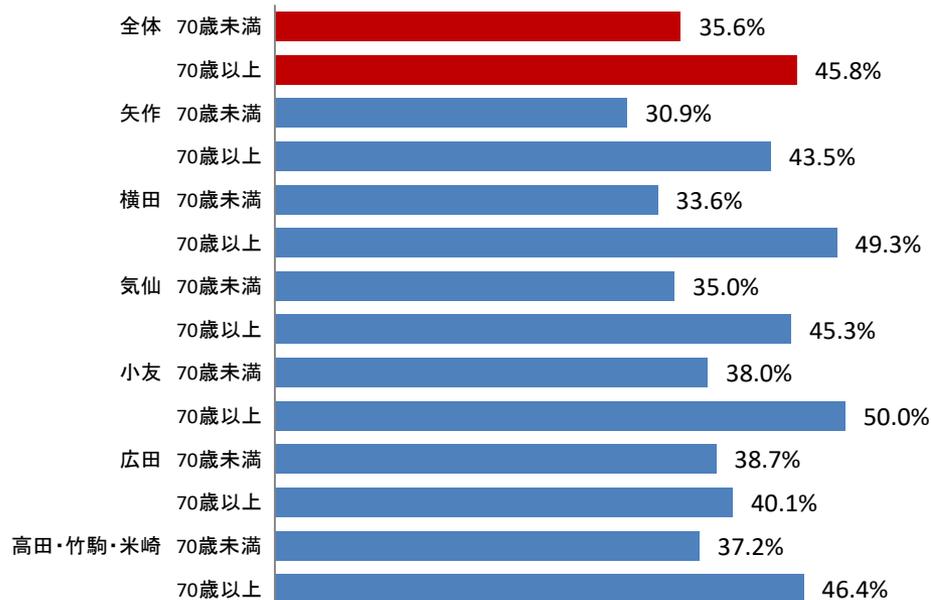
■調査概要

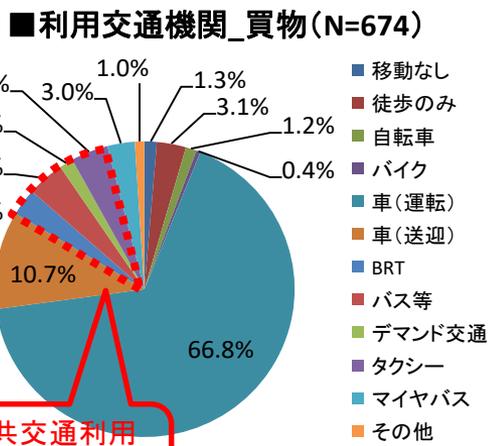
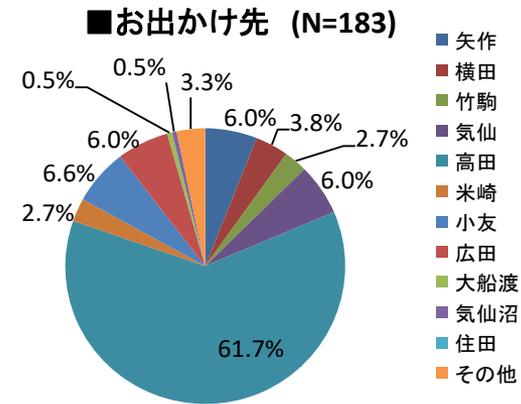
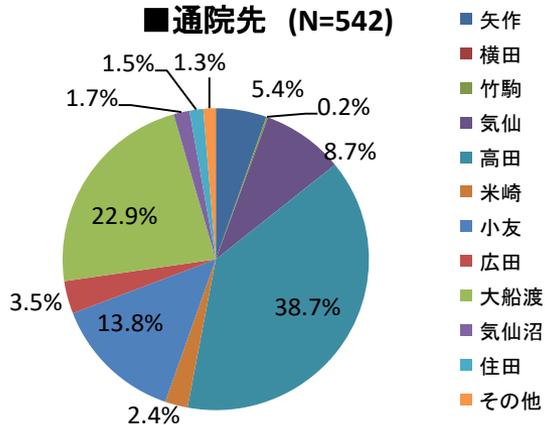
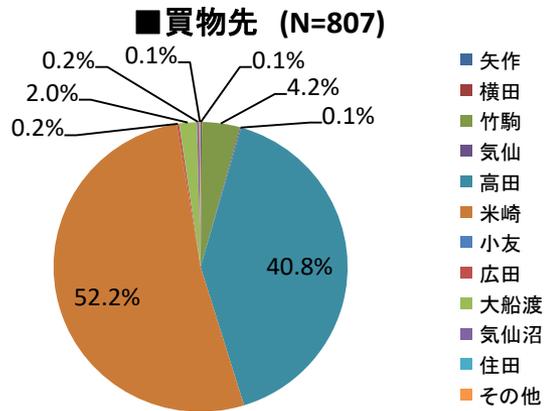
対象	<ul style="list-style-type: none"> 住民基本台帳に記載されている19歳以上の市内在住者から、地域ごとに定めた配布数に達するまでランダムに選出
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年8月31日(月)陸前高田局より郵送 9月18日(金)投函〆切(消印有効)
配布・回収方法	<ul style="list-style-type: none"> 郵送配布・郵送回収
回収実績	<ul style="list-style-type: none"> 回収数687票(回収率41.7%)
質問事項	<ul style="list-style-type: none"> 普段の移動の実態 公共交通の認知状況及び利用状況 公共交通に対する満足度及び不満理由 公共交通への要望 回答者の属性 等

■配布数

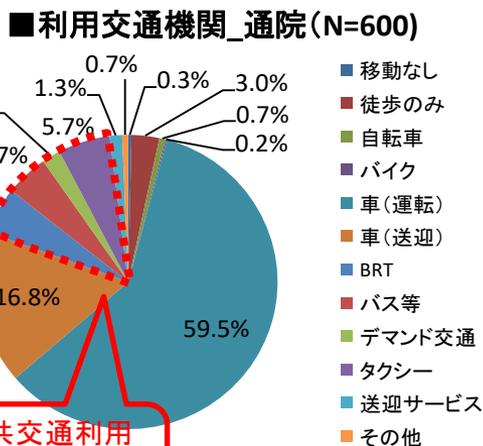
地区	配布数	
	19～69歳	70歳～
矢作	136	138
横田	137	138
気仙	137	137
小友	137	138
広田	137	137
高田・竹駒・米崎	137	138
合計	821	826
	1,647	

■回収率【全体、地域別】

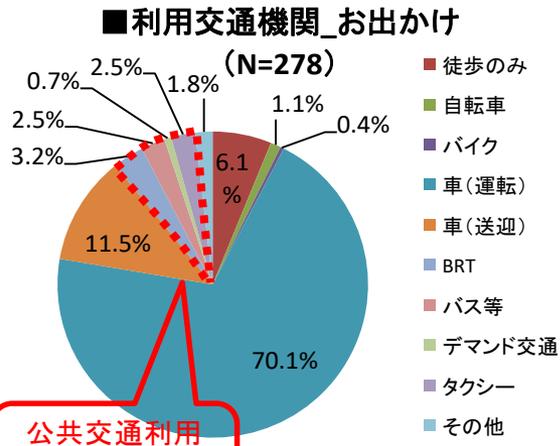




公共交通利用
8%



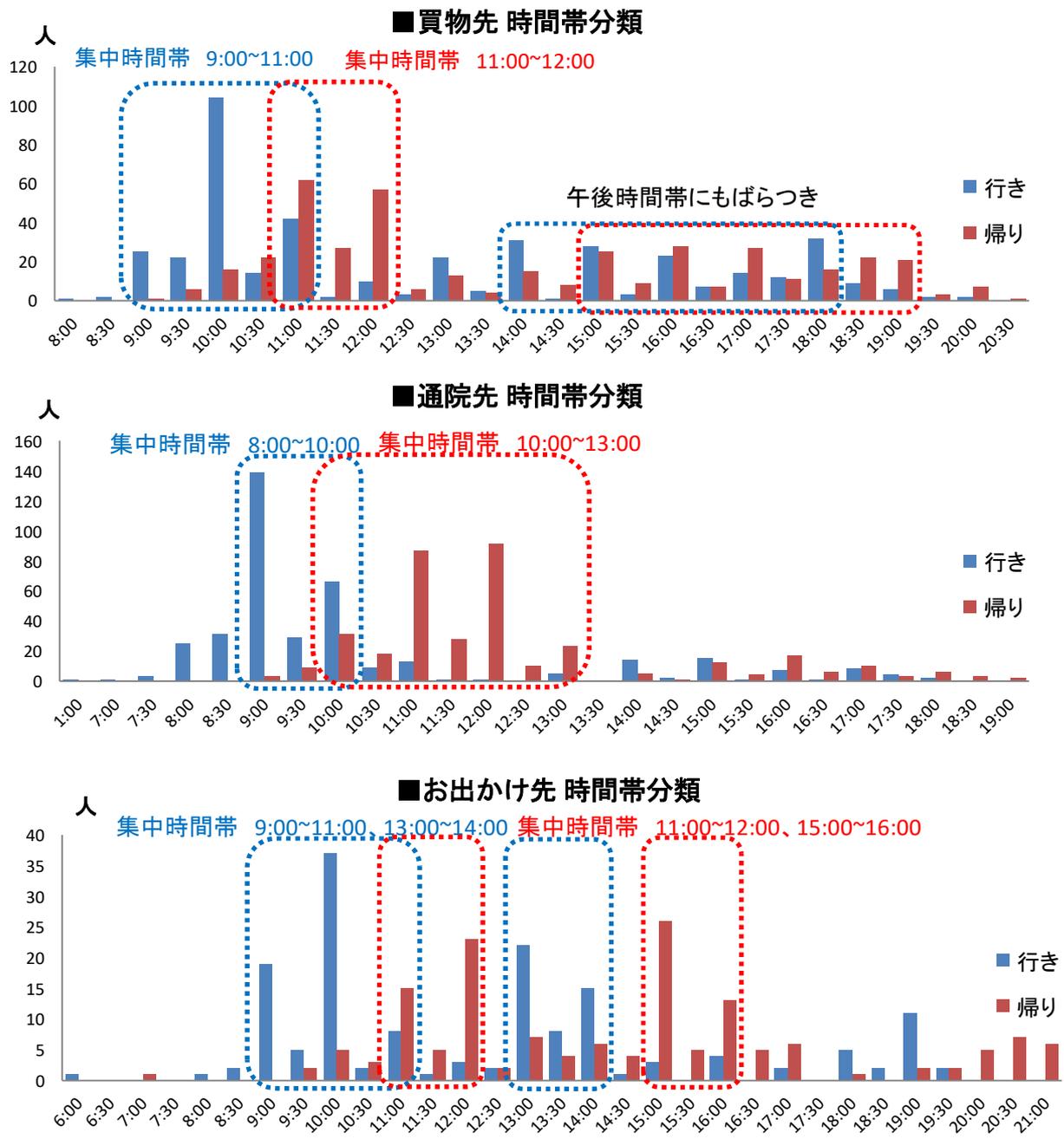
公共交通利用
12%



公共交通利用
6%

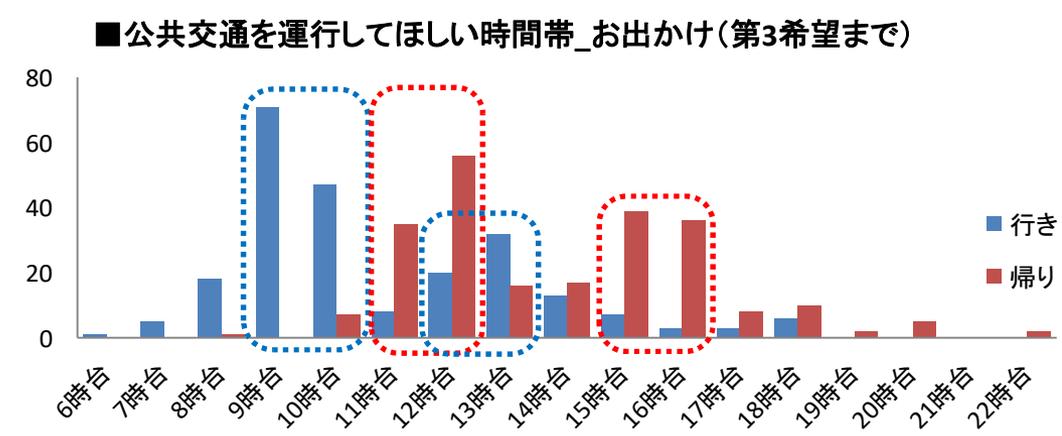
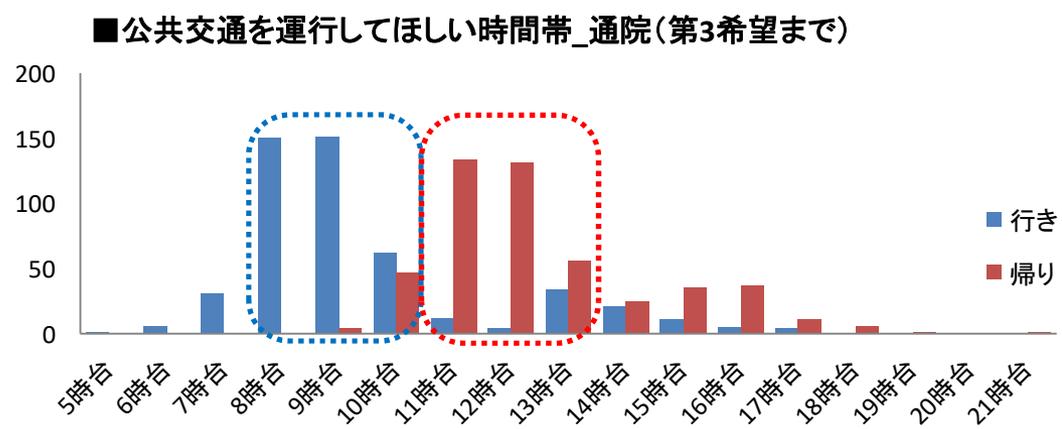
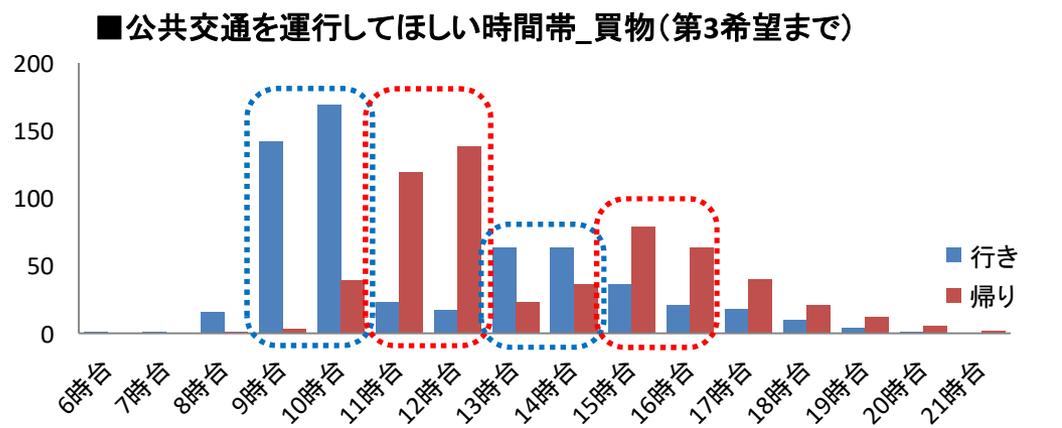
※グラフの数値の合計が100%とならない場合がある。以下同じ。

- 買い物については、高田町と米崎町に集中。公共交通の利用は約8%。
- 通院については、大船渡・高田の県立病院が中心。公共交通の利用は約12%。
- お出かけについては、高田町が6割近くを占める。公共交通の利用は約6%。



- 買物については、行きが午前10時頃、帰りが午前11時と正午頃に集中している。
- 通院については、行きが午前9時頃と午前10時頃、帰りが午前11時頃と正午頃に集中している。
- お出かけについては、行き、帰りとも分散傾向にある。

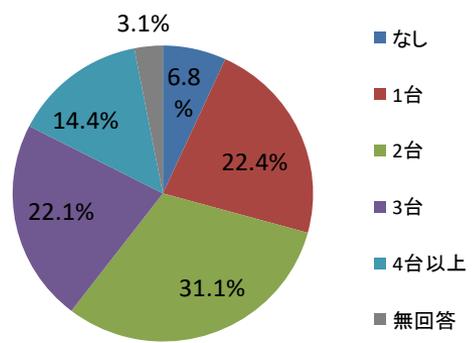
3-2 公共交通を運行してほしい時間帯



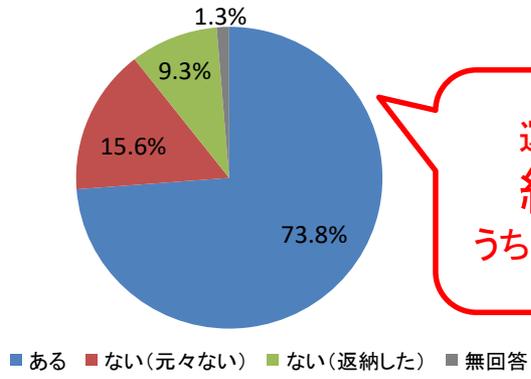
- 買物及びお出かけについては、行き、帰りとも、公共交通を運行してほしい時間帯と、実際の移動時間帯が概ね整合している。
- 通院については、行きの午前8時台において運行の希望が多い一方、実際の移動時間帯を見ると午前8時台に通院に出かけている人は少なく、ニーズとのずれが生じている。

※いずれも前項参照

■世帯での自家用車の保有台数

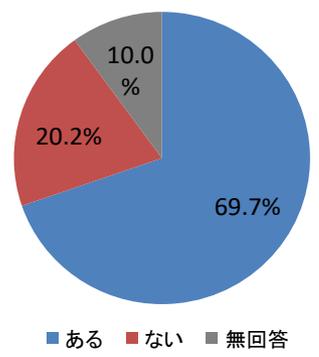


■運転免許の有無

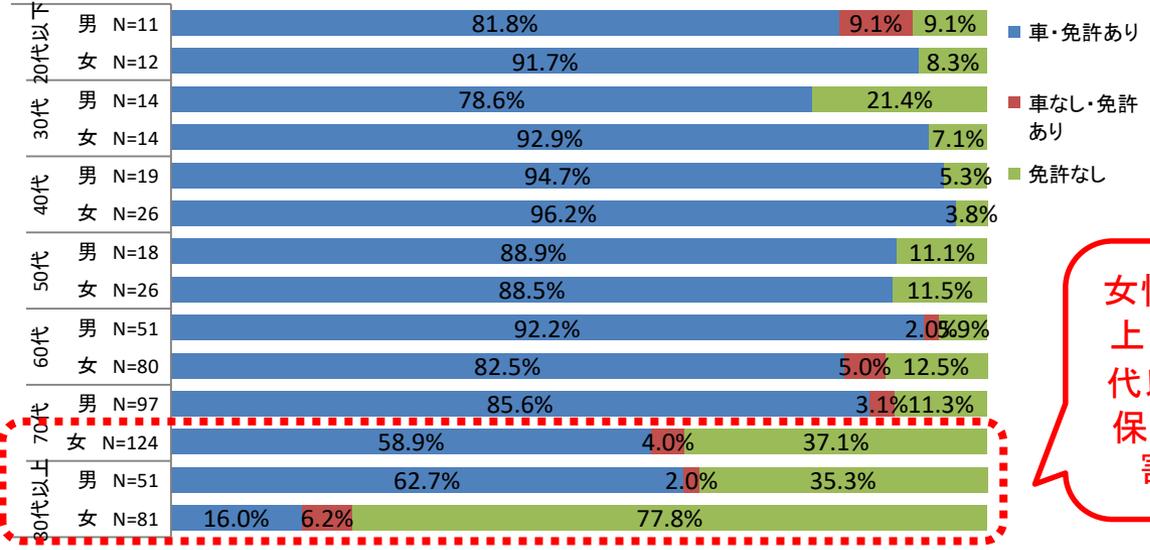


運転免許なし
約4分の1
うち返納は1割程度

■自分で自由に使える車の有無



■年代別運転免許・自由に使える車の保有状況

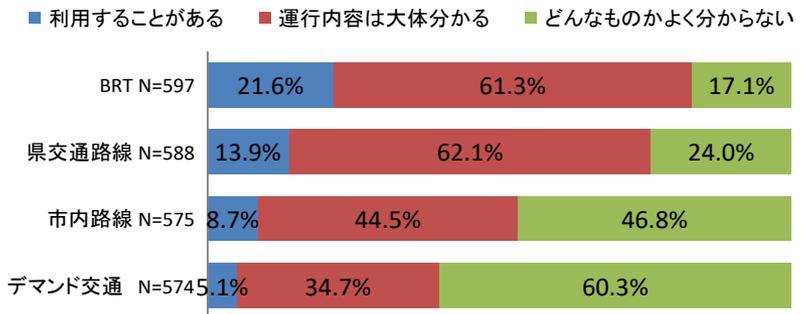


女性では70代以上、男性では80代以上で免許を保有していない割合が高い

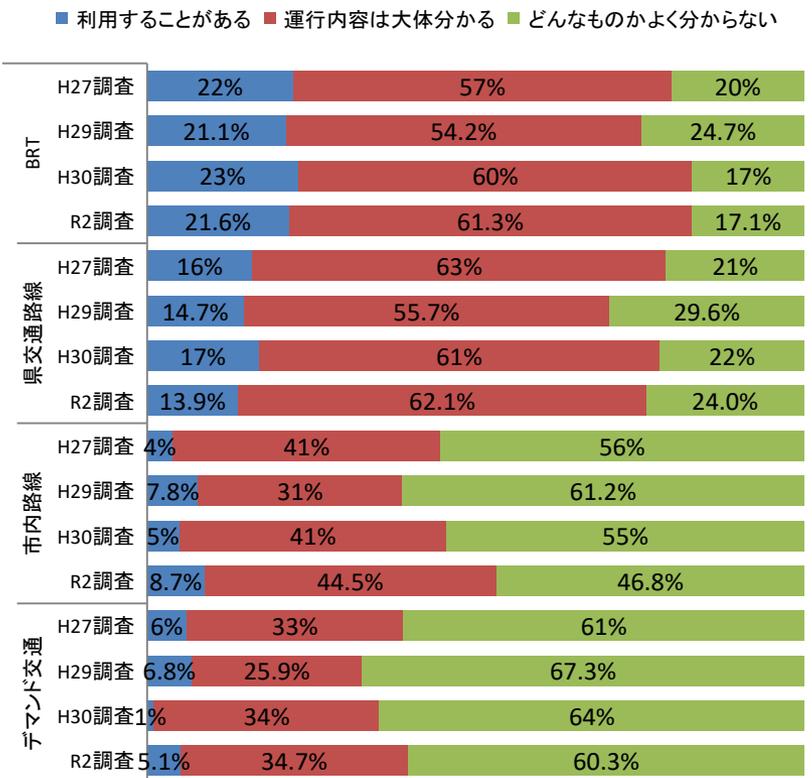
- 自家用車を保有していない世帯は全体の約7%である。車両台数についても2台以上の保有が多い。
- 免許がない、もしくは昼間時間帯に家族が車両を持ち出す等の理由により、自家用車を自分の自由に使えない人も少なくなく、特に女性では70代以上、男性では80代以上で免許を保有していない割合が高い。

5-1 市内公共交通の認知状況及び満足度

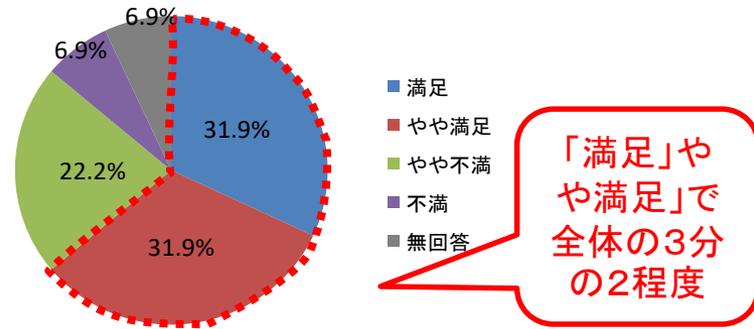
■公共交通の認知度_全体



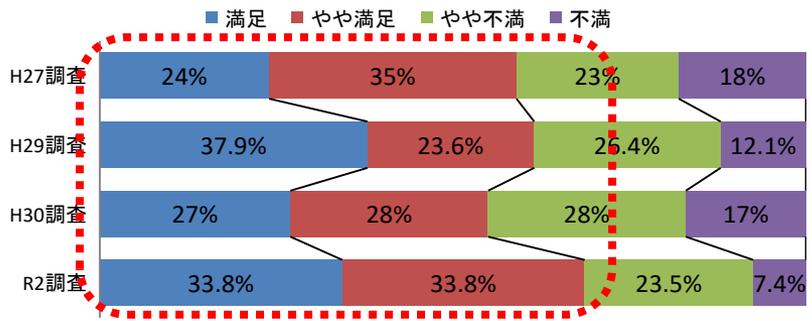
■公共交通の認知度_過去比較



■市内公共交通の満足度(※利用者に質問 N=144)



■市内公共交通の満足度_過去比較



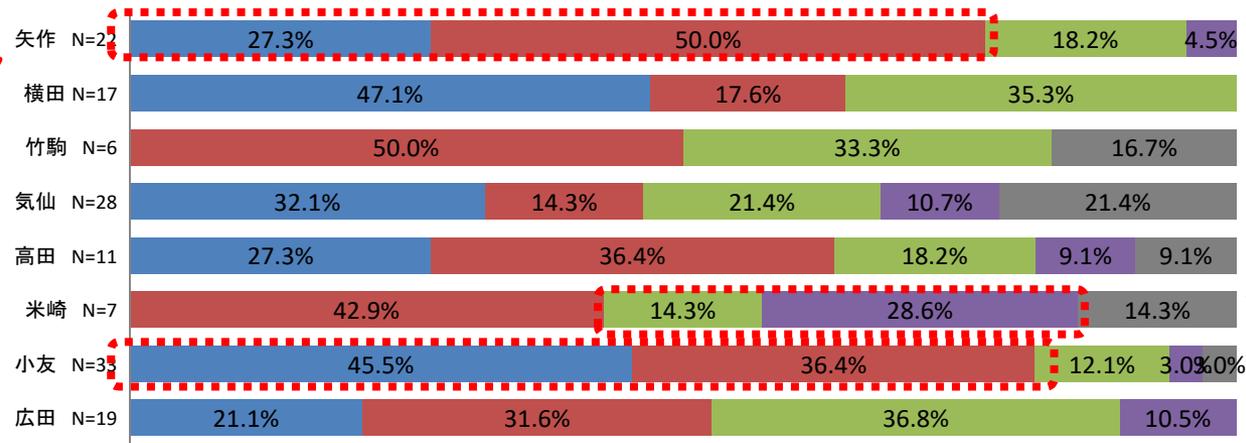
「満足」やや満足」と答えた人の割合は改善傾向

- 市内公共交通の認知度は、大船渡線BRTと県交通路線がほぼ横ばいないし微減傾向で、市内路線及びデマンド交通は増加傾向にある。
- 市内公共交通の満足度は改善傾向にあり、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は全体の3分の2近くを占める。

5-2 市内公共交通の満足度(地域別)

■市内公共交通の満足度_地域別 N=144

■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答

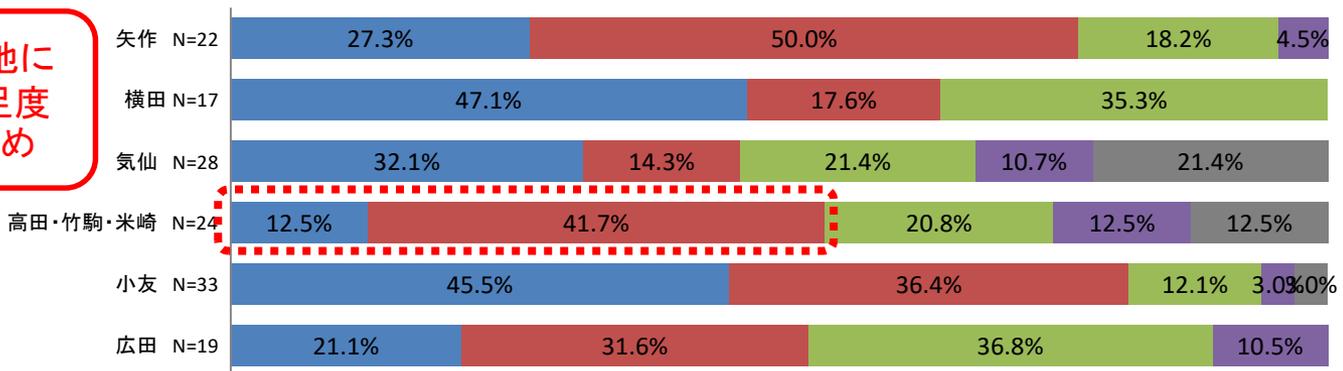


矢作町、小友町で満足度が高い

米崎町などで満足度が低い

■市内公共交通の満足度_地域別(高田・竹駒・米崎を統合)

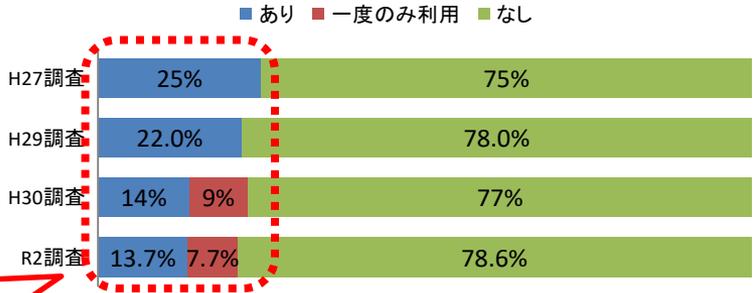
■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答



中心市街地における満足度はやや低め

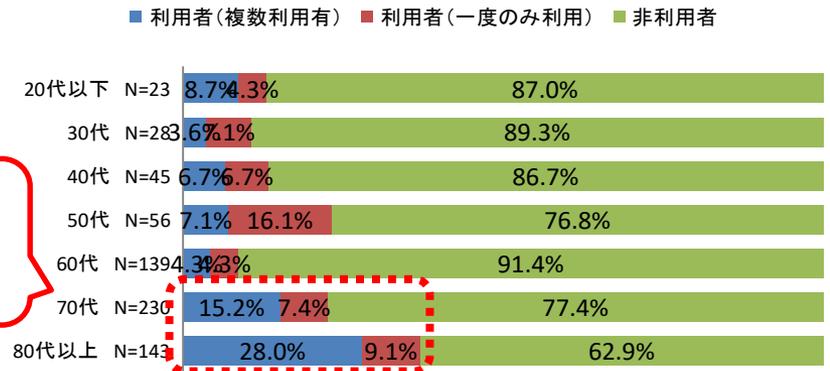
• 地域別の満足度では、小友町や矢作町で満足度が高く、米崎町や気仙町で満足度が低くなっている。米崎町や気仙町は、公共交通を複数回利用する人が他地域と比べて多く、優先して対処する必要があると考えられる。

■過去半年間の公共交通の利用経験_過去比較



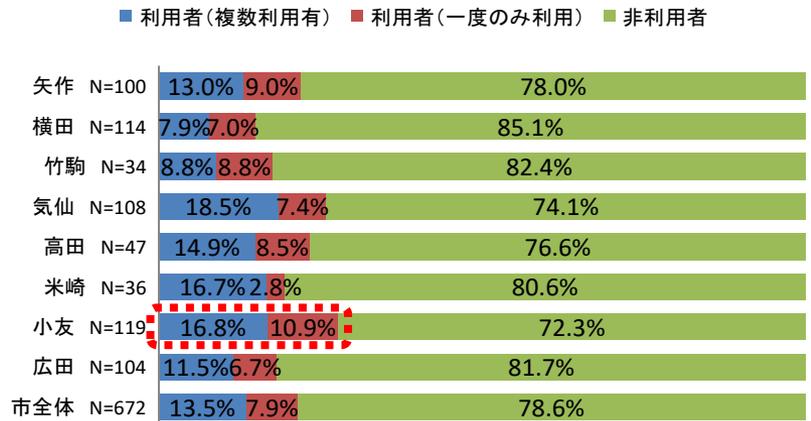
利用したことがある人の割合は、微減傾向

■過去半年間の公共交通の利用経験_年代別



70代以上で利用経験が多い

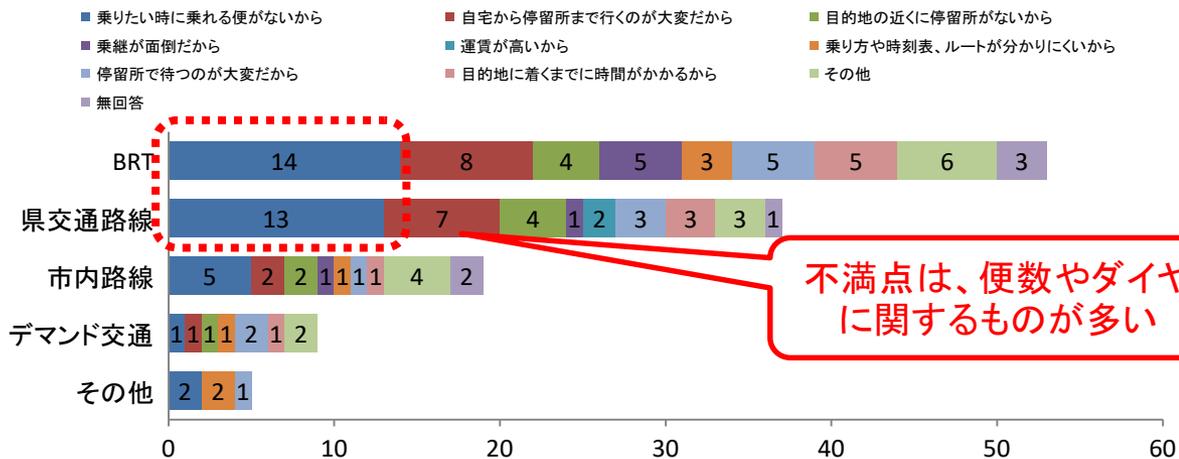
■過去半年間の公共交通の利用経験_地区別



小友町で利用経験が多い

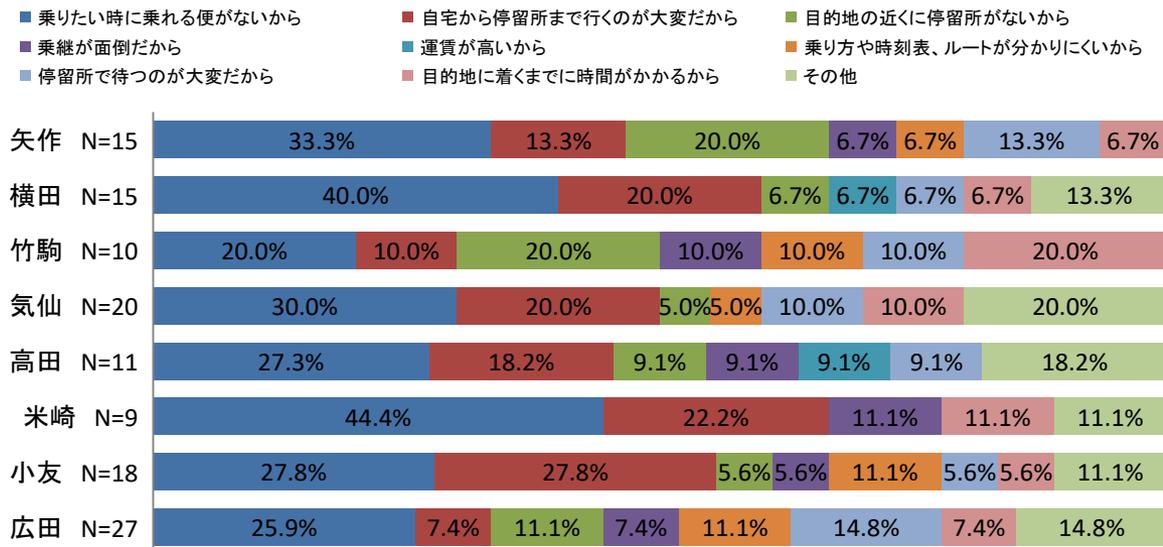
- 過去半年間に公共交通を利用した人の割合は、横ばいに近い微減傾向となっている。「一度のみ」使ったことがある人の割合がやや減少している。
- 年代別では、80代以上が最も多く、次いで70代以上が多い。
- 地区別では、「複数回」と「一度のみ」を合わせた割合は小友町が最も高くなっている。

■公共交通機関別不满理由 N=123(複数回答)



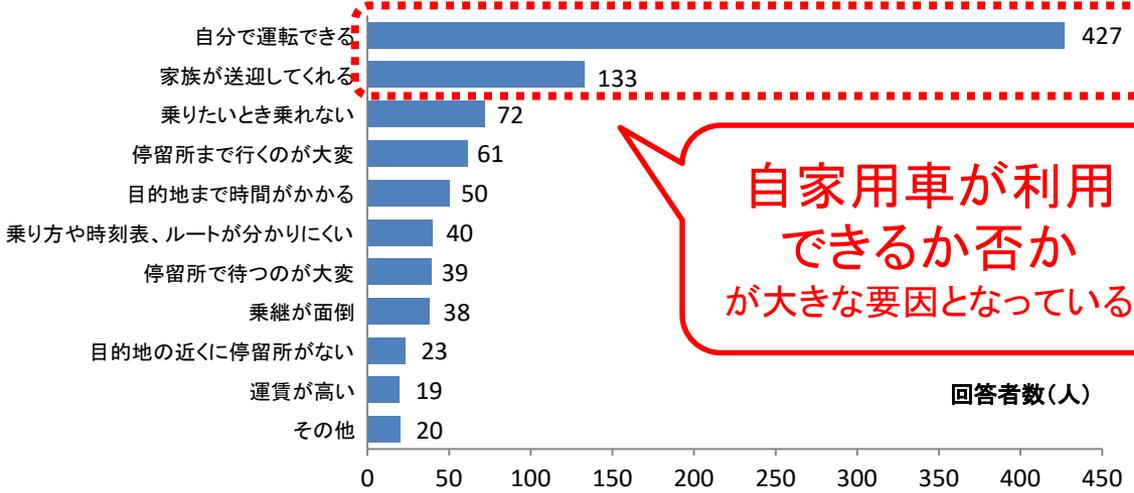
不満点は、便数やダイヤに関するものが多い

■公共交通機関別不满理由_地域別



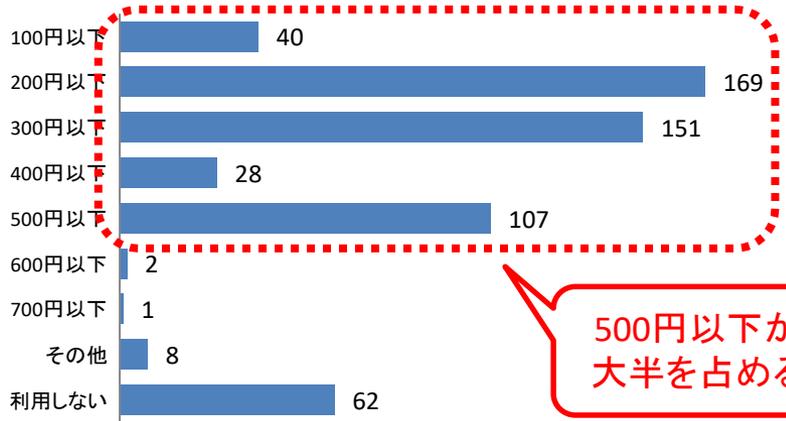
- 公共交通に対する不満の要因としては、「乗りたいときに乗れる便がないから」という、移動欲求とダイヤ・ルートの不整合に起因する不満が最も多い。
- 交通機関別に見ると、利用者の多いBRTと県交道路線に集中しており、BRTへの不満が最も多い。
- 地域別でも、同様の傾向となっている。

■公共交通機関を利用しない理由(未利用者に質問、複数回答)N=922



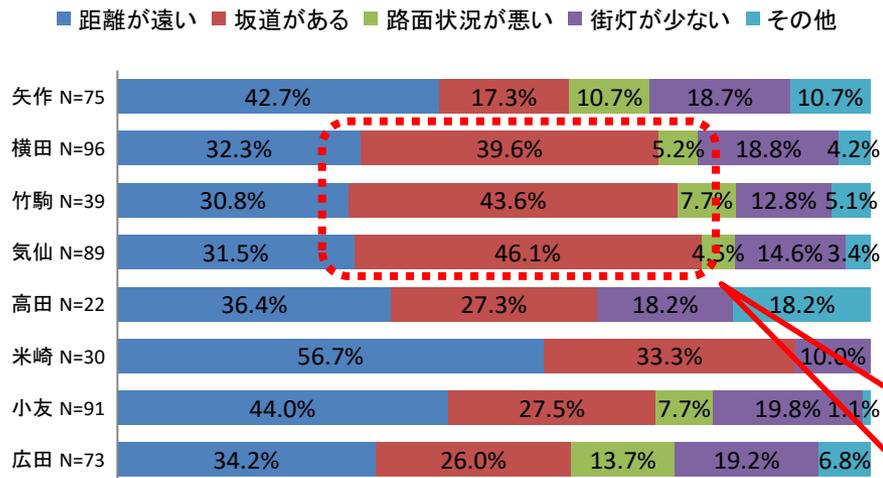
公共交通を利用していない理由については、自家用車(運転・送迎)の利用が可能である点が大い。

■中心市街地まで移動する際に公共交通機関が無理なく利用できる運賃 N=568



中心市街地までの移動に関し、公共交通が無理なく利用できる運賃としては、500円以下の範囲とする意見が多い。

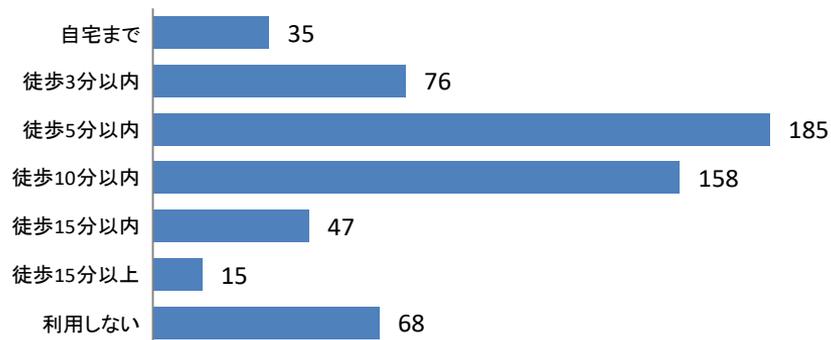
■ 駅・停留所までの移動における問題点(複数回答)



• 駅や停留所までの移動における問題点としては、横田町、竹駒町及び気仙町では「坂道がある」が最も多く、それ以外の地域では「駅や停留所までの距離が遠い」が最も多い。

横田町・竹駒町・気仙町では「坂道がある」が最多

■ 公共交通機関が無理なく利用できる停留所までの距離 N=584



• 公共交通機関が無理なく利用できる停留所までの距離としては、「徒歩5分以内」が最も多い。